

すように」とコメントを受けた、と報告がありました。

2 1、2号機廃止措置の状況について

現在、廃止措置の第2段階で、主にタービン建屋内の設備の解体工事を進めており、解体の進捗状況は計画どおりに進んでいる、と説明を受けました。また、第3段階に原子炉圧力容器などの解体作業を実施するために「作業員の被ばく低減」、「放射性廃棄物量の低減」を目的とした、原子炉圧力容器などの化学除染を行っている、と説明を受けました。

3 クリアランス測定装置の視察について

1、2号機の廃止措置に伴って発生するクリアランス物を測定する機器を視察しました。クリアランス物は、放射性廃棄物のうち、放射性物質の濃度が極めて低く、人への影響がほとんどないものについて、国の許可、確認を得て一般の廃棄物として処分できます。



クリアランス測定装置

総合開発計画策定 特別委員会

平成30年3月14日に委員会を開催し、内容は次のとおりです。

1 新給食センター建設について

3月6日に新給食センターに導入する厨房機器及び設計のプロポーザル審査を行い業者を決定しました。審査では、ランニングコスト、厨房機器の能力、近隣市町への導入実績などを考慮し業者を決定した、と報告を受けました。

2 浜岡中学校校舎改築について

3月8日にプロポーザル審査を行い業者を決定しました。校舎棟の完成は2021年2月、外構を含めたグラウンドは7月完成予定です。地元企業へは、入札予定額の30%を発注する計画になっています。

プロポーザル審査とは
複数の者に建物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること



浜岡中学校新校舎完成予想図

3 第2次御前崎市総合計画（実施計画）及び財政計画見込みについて

31年度の実施計画を策定するにあたり10%を限度に予算を削り、削った10%の財源を新規事業や重点事業などへ振り分けし、事業にめりはりをつける取り組みをしました。また、3年間の財政計画見込みについても説明を受けました。

4 エネルギーのまちづくりについて

「未来をつなぐエネルギーのまち御前崎」を目指し、既存の原子

力発電、大型風力発電などのエネルギー施設を活用しながら、市の特性に合致した新たな再生可能エネルギーを導入します。また、既存の観光資源・地域資源を活用しエネルギーテーマパーク化を進めていきます。

5 産業廃棄物処理施設について

池新田地区に建設予定の産廃処理施設について事業者から概要や現状について説明を受けました。現在は、住民、市長及び県知事の意見を踏まえた環境アセスメント（環境影響評価）の現地調査が実施されています。

6 火葬場整備事業について

候補地選定の経緯について、市長から報告を受けました。火葬場の候補地は、検討委員会から提出された報告書の内容に沿って、市の幹部職員が、15ヶ所の候補地エリアをあらゆる視点で評価し5ヶ所に絞り込み、最終的に市長が選定する予定でした。しかし、市が最有力候補地と考えていた佐倉地区の市有地周辺にお住まいの皆さまから、大変厳しい意見があったため、現時点では候補地にできない状況にないとの報告を受けました。